

エゾトガリネズミ

Sorex caecutiens saevus

トガリネズミ科



エゾトガリネズミ

名前の由来

北海道（エゾ）に生息するトガリネズミ。口先が尖っていることからトガリネズミと呼んだと思われる。ネズミではなくモグラに近い（食虫目）。漢字名：蝦夷尖鼠

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)
草花

(外来種)
草花

哺乳類

(水辺)
鳥類

(草原・樹林)
鳥類

形態的特徴

トガリネズミ類一般に非常に目が小さい。
エゾトガリネズミは頭胴長(鼻先から尻尾の付け根まで)65~78mm、尾長45~52mm、後足長(後足の指先から踵まで)12~13mm。成体の体色は夏毛は背面が濃い赤褐色、冬は暗色。

腹は灰色か薄茶色。

類似種と見分け方：オオアシトガリネズミ。

オオアシトガリネズミの前足の爪は倍以上長い。

生息環境・分布

あらゆる場所に棲む。特に落葉層や腐食層の厚い場所、湿潤な環境に多い。

分布：国外では、サハリンに分布。国内では、北海道に分布。北海道内では、全域に分布。

十勝地方では、平地から山地の林や草地に分布する。

食性・他生物との関わり

小型の昆虫類、クモなどを食べる。

生体はフクロウ類、モズ類、死体はカラスが捕食するという。強烈な匂いのためなのかあまり他の動物に食べられないという。

繁殖生態・寿命

4~10月に4~8子を産む。寿命は17ヶ月。

配慮事項

落葉層や腐植層のできる樹林が必要。

生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
出現期	■												
繁殖期				■									

興味深い話（トガリネズミ類を通して）

■トガリネズミはネズミと名がついているが、食虫目でモグラなどの仲間。ただし北海道にモグラ科に属する動物はいない。

■トガリネズミの腹にはジャコウ腺があって強烈な匂いを発する。

■積雪期にキタキツネなどがわずかに餌とする様だが、トガリネズミ類は強い匂いを発するためか、あまり他の動物に捕食されない様である。キタキツネやネコなどが春から秋の餌の豊富な時期にトガリネズミ類を捕らえて殺すが、食わずに放棄することがある。そのためか道端などで死んでいるものを見かける事がある。

■トガリネズミ類の毛はきわめて上質で、手で触れると

ビロードのように柔らかな触感がある。

■基礎代謝量が多く、活発に動き回るため、ほとんどの時間を食べる為に費やしないとエネルギーがまかなえない。したがって、生捕り罠などにかかるとうと死んでしまう事が多い。

■エゾトガリネズミはトガリネズミの亜種。トガリネズミはユーラシア北部一帯に広く分布している。

■北海道にいるトガリネズミの仲間にはもう一つトウキョウトガリネズミがいる。これは世界で最も小型の哺乳類で、体重が2g前後だという。

■十勝地方のアイヌ語ではトガリネズミ類一般を「エトウチケレブ」と呼ぶ。

参考文献

「日本の哺乳類」阿部永・石井信夫・金子之史・前田喜四雄・三浦慎悟・米田政明 東海大学出版会 1994

「北海道 森と海の動物たち」エコ・ネットワーク編 北海道新聞社 1997

「日本動物大百科1 哺乳類I」日高敏隆 監修 平凡社 1996

「フィールドガイド 足跡図鑑」子安和弘 日経サイエンス社 1993

「アイヌ語で自然かんさつ図鑑」帯広百年記念館編集、内田祐一・池田亨嘉、帯広百年記念館友の会 2004